

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	泉南市こども夢事業				②事業番号	7614	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 29 年度	⑤終了予定年度	令和 1 年度 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称 泉南市こども夢事業実施要綱
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	5	目	4	細目 6
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育部	生涯学習課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内2中学校の中学2年生	① 生徒数	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
元サッカー日本代表、Jリーグ選手をはじめ様々なアスリート等を、特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること、夢を持つことの大切さ、失敗を乗り越えて夢や目標に向けて努力しようとする意識や態度を育む。	① 出席者数	人
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
次代を担う青少年が明るく、素晴らしい夢を描き、夢を実現させるきっかけとなること。	① 出席率	%
	計算式 参加者／市内中学生及び小学校高学年	
	②	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
西信達中学校及び信達中学校の2年生を対象に日本サッカー協会が実施している「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』」を開催し、約300人の生徒が出席した。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	3 青少年、子どもの健全育成
	施策小	1 自主活動の支援

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	生徒数	人		3,755	311	276		指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	出席者数	人		300	299	276		
活動指標②								対象指標①H29は市内小学校高学年と中学生を対象にしていた。 H30・R1年度は市内2中学校の中学2年生の生徒を対象にする。
活動指標③								
成果指標①	出席率	%		7.99	96	100		
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人		0.24	0.17	0.17		
	任期付職員	人		0.00	0.00	0.00		H29報償費(泉南市出身アスリート)からH30委託料(日本サッカー協会)に変更したため。
	臨時職員	人		0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員*単価)	千円	0	1,927	1,378	1,378		
	直接事業費	千円		637	1,200	1,676		
財源内訳	総事業費	千円	0	2,564	2,578	3,054		
	国庫支出金	千円		0	0	0		
	府支出金	千円		0	0	0		
	受益者負担金	千円		0	0	0		
その他特定財源		千円		0	0	0		
	一般財源	千円	0	2,564	2,578	3,054		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	夢を実現させるきっかけづくり。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	直接体験談を聞くことで、将来に明るい展望を描ききっかけとなる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	平成29年度の開催方法を改善し、中学2年生を対象に「夢の教室」を実施した。

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価	A
--------	---

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価	A
--------	---

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価	C
--------	---

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

ウ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続 ↓	ウ. 終了 ↓ (1 年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		H30は2中学校で実施し、R1は残りの2中学校で実施予定であるが、4中学校の2年生を対象とした「夢の教室」を実施する。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—			